

車椅子の修理とシーティング技術講習会

新潟医療福祉大学 Flying Wheelchair Supporters

〒950-3322 新潟県新潟市北区島見町 1 3 9 8 番地

助成事業の概要

FWS の活動目的は、日本で使われなくなった古い車いすを高校生やほかの大学の学生と協力して修理し、車いすが不足している発展途上国のアジアに寄贈することである。現地では修理・点検なども行なっている。

具体的には、以下の 3 つを目的として本事業を行う。

1. 日本から海外に送った車いすの点検・修理。
2. 現地の住民による自立した車いす使用の実現の支援。車いすの取り扱い方や修理、点検、操作方法を伝える。
3. 利用者とその家族、環境に合わせて処方した車いすの寄贈。

今回は 2017 年 8 月 31 日(木)ー9 月 4 日(月)にスリランカで実施した。

この活動では神奈川工科大学 KWR と新潟医療福祉大学 FWS が共同で現地活動を行った。KWR は車いすの修理を、FWS はシーティングを中心に活動を行った。車いすの修理技術は日本での活動で積み重ねた経験を活かして作業し、車いすの選定・シーティングは大学にて学んだ知識を用いて利用者により適合した車いすを選ぶ。現地（利用場所）に実際に赴き環境を把握したうえで、利用者個人の要望や身体状況を確認し車いすを適合・使用してもらい、車いすの説明や操作方法をサークルメンバーが実演しながら伝える。

事業の成果

私たち空飛ぶ車いすサークル（FWS）は今回、スリランカに 105 台の車いすを輸送、うち 102 台を修理・寄贈した。修理の際は現地の学生やボランティアに修理方法を教え、簡単な英語やジェスチャーなどでコミュニケーションを取りながら一緒に修理を行なった。

現地での活動は 3 日間だった。活動 1 日目では現地の人々と共に車いすの修理を行なった。その際、各パーツで修理の役割を分担し、点検までの流れをスムーズにした。

活動 2 日目では車いす利用者（車いすを必要とする人）のお宅まで訪問した。利用者の方々は下肢の切断者や足部変形を起こして歩けない人、寝たきりの高齢者などで、利用者によって様々な疾患を持っていた。私たちはそんな彼らの抱える問題や周りの環境を実際に見て、それらに応じた車いすの選定・シーティングを行なった。

活動 3 日目では修理会場であるお寺で車いすの贈呈式を行い、会場にお越しいただいた 9 人の車いす利用者へ車いすの選定・シーティングを行なった。

修理の際、言葉が通じない現地のボランティアに修理方法を教えるのは苦労し、通訳の方に頼りがちになっていたが、簡単な英語やジェスチャーなどで何とか積極的に関わることができた。修理会の終盤では、用意した工具が足りなくなるくらい多くのボランティアの修理技術が上達していたため、これも今回の活動での大きな成果になったと思われる。

また、現地で実際に活動を実施するなかで、利用者と私たちとの車いすに対する価値観の違いが目立って見えた。日本とは異なる環境や貧富の差から、車いすは貴重な道具であり、「身体に合っていないなくても、楽に動けるなら十分ありがたい」という考えが利用者のなかで多いように見受けられた。だが、身体に適合していない車いすを使用し続けると、利用者の持つ症状を車いす使用前よりも悪化させてしまうこともある。車いすをただ送って自己満足するのではなく、より良い選定・シーティングも行うことが重要だと感じられた。

度の範囲まで利用者が動けるかなど、利用者一人一人の生活を知ることが大切である。

発展途上国の車いす利用者を根本的に助けるには、環境整備などもっと大きな取り組みが必要だろう。私たちの活動でできることは、ほんの小さなことだと実感したが、それでも自分たちにできることを積極的に進めていきたい。

成果の広報・公表

- 1、サークル内での活動報告（10月）
- 2、新潟医療福祉大学オープンキャンパスで高校生向けの活動報告
- 3、健康フェアにて活動報告（11月中旬）

今後の展開

今回の活動では FWS が選定・シーティングを中心に作業していたが、事前の勉強や準備が足りず、満足に作業ができなかったように思えた。修理だけでなく車いすの適合も重要な役割なので、日本でできることを時間に余裕をもってやらなければならない。症状やシーティング、座位保持装置の勉強をより強化していきたい。

現代ではネットを使えば知りたいことはほぼ何でも知ることができるが、実際に見ないとわからないこともたくさんある。スリランカでは日本と比べて、道路や建物が整備されておらず、健常者でも歩きづらいところが多く見られた。訪問したお宅の中には町から離れた森の中に建っている家もあり、そのような場所に車いす利用者が住んでいるとは、最初は信じられなかった。利用者に介助してくれる人はいるのか、送る車いすでどの程